

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年12月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DONKEY COMICS スプートニクコミックス ヨガりすぎておかしくなりそう</p> <p>平成30年11月29日発行</p>	<p>設定の工夫や見せ方の演出、絵についても洗練が見られ、人間ドラマも入れており、一定の作品力はあると評価できる。しかし、性器及びその結合部の消しは甘く、形状がはっきりとわかる。薬物を用いて自由を奪い性交を強要する行為を肯定的に描いており、人格否定を助長するとも見てとれる。指定やむなし。</p> <p>物語の出来も画力もあって非常に読みやすく、多少のムリヤリ感はあったが、ストーリー上の展開で、嫌悪感はなかった。ただ、消し方が荒く、男性器の形状が明確に分かってしまうため青年レベルをこえてしまい残念。指定やむなし。</p> <p>性器の消しが甘く形状がはっきりわかる。体液や性交シーンが多い。縛りはあるが人格否定とまではいかない。画面構成など配慮すべき点はあったのではないかと。話自体はよい。指定該当</p> <p>それぞれの登場人物の心の動きが丁寧に描写されており、ストーリー性もある。しかし、一部の性交シーンでは擬音・体液が多く描かれている。男性器の修整が不十分で、形状がはっきりわかる。媚薬を使用しての性交、開脚して男性器と結合部を強調する構図、顔面への射精が露骨で卑わいな感じを与えているといえる。指定該当</p> <p>初めのうちは性器、体液、擬音とも控え目だが、だんだんと派手になっていく。性器はほぼ形が分かるようになっていき、擬音、体液も徐々に派手になり、露骨さが際立ってしまう。さらに薬物を使い、小柄な男性を大柄な男性2人で性行為におよぶというシーンがあり、やや人格否定的に読める。青少年に読ませるのはいかがなものかと考える。指定該当</p> <p>性器描写がやや多く、消し方が中途半端な印象。指定やむなし。</p> <p>中盤以降から性行為シーン中心に描かれており、体液や擬音の描写も多く、卑わいに感じた。修整は施されているが形状が分かるようになっており甘い。薬を使用するシーンもあり、青少年に悪影響を及ぼす懸念がある。指定該当</p> <p>ヨガ入門が性教育されだんだん深みにはまってゆくという展開。性器、結合部分は適度に修整されているが、目隠し、手の縛り、裸体での性行為が描かれている。また3人での性行為がリアル。擬音、体液描写も多く卑わい感を感じる。青少年には不向きである。指定該当</p> <p>全編にわたって性交場面が多く性器にはボカシが入っているが形状が分かる。擬音、体液描写など卑わい感が強い。指定該当</p> <p>擬音や体液の描写が多い。性器部分は修整されているが形状がわかる。よって、全体的に卑わいな感じを受ける。指定やむなし。</p> <p>修整が甘いところもあり、性描写も多い。指定やむなし。</p> <p>全編に性行為のシーンが多く、性器は消されているが、形がわかるようになっている。指定該当</p> <p>B L物なので青少年に悪影響があるかどうかはよくわからない。修整は白抜きで施してある。ただペニスの形に見える感じはあるが、それがどうなのかよくわからない。保留</p> <p>擬音、体液描写は多用されている。形状がやや分かる箇所が見受けられるが修整は加えられている。強制と受け取れる箇所もなく、ストーリーも陰湿さは特に無い。ヨガと言っているが、特にストーリー性も無く性交シーンが多い感はある。保留</p> <p>性交の描写について、前半は着衣でのシーンが多く、さほど卑わい感も感じず抵抗はない。後半は全裸同士でのシーンがメインだが、性器のボカシ方が大雑把で形状が不可思議に描かれているものが多く、かえって性的感情がそそられない。一部顔面精液だらけのシーンがあり、若干気になったが、全編を否定するほどではない。指定非該当</p>